

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	機械設計製図 I
科目基礎情報						
科目番号	0058		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材						
担当教員	安丸 尚樹,金田 直人					
到達目標						
(1) 簡単な機械・器具の設計製図手法およびスケッチ製図手法を理解でき、機械工学の専門基礎知識に基づく製品設計・図面作成を意識できること。 (2) 設計書・図面を概観し、問題点がないかを確認できること。 (3) CADの概念を理解し、情報処理の基礎知識を用いて簡単な3DCAD図面を作成できること。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		機械設計製図 I における基礎知識を十分に習得し、様々な問題を解決するために応用できる。	機械設計製図 I における基礎知識を十分に習得・理解し、演習問題を解くことができる。	機械設計製図 I における基礎知識が習得できていない。		
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	簡単な機械・器具の設計・製図を行うことにより、設計手法を学び設計製図の基礎能力を養う。次に万力のスケッチ・製図を行い、スケッチ技術を修得する。また、油圧シリンダの設計製図については、各自が異なる仕様値を与えられ、そこから強度計算を行い、独自の油圧シリンダの製図を行う。CAD製図ではCADの基本概念を理解し、CADを用いた設計・製図について学ぶ。					
授業の進め方・方法	ボール盤用穴開け治具の設計・製図およびボール盤用万力のスケッチ・製図を行い、簡単な機械・器具の設計およびスケッチ手法を修得する。また、油圧シリンダおよびCADを用いた設計製図を行う。					
注意点	本科（準学士課程）：RB2(◎) 関連科目：機械設計製図II, 機械設計製図III					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	講義(ガイダンス)		シラバスを理解できる。J I S 機械製図の試験と採点を行う。	
		2週	ボール盤用穴あけ治具の設計・製図		穴あけ治具についての講義を理解できる。	
		3週	ボール盤用穴あけ治具の設計・製図		穴あけ治具の設計作業を行うことができる。	
		4週	ボール盤用穴あけ治具の設計・製図		組立図および部品図の製図を行うことができる。	
		5週	ボール盤用穴あけ治具の設計・製図		組立図および部品図の製図を行うことができる。	
		6週	ボール盤用穴あけ治具の設計・製図		組立図および部品図の製図を行うことができる。	
		7週	中間確認（治具の設計・製図）		組立図および部品図の製図を行うことができる。	
		8週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		スケッチ手法についての講義を理解できる。	
	2ndQ	9週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		スケッチ作業を行うことができる。	
		10週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		スケッチ作業を行うことができる。	
		11週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		スケッチ作業を行うことができる。	
		12週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		部品図の製図を行うことができる。	
		13週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		部品図の製図を行うことができる。	
		14週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		部品図の製図を行うことができる。	
		15週	ボール盤用万力のスケッチ・製図		部品図の製図を行うことができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	油圧シリンダーの説明		ガイダンス、課題（油圧シリンダ）の説明、仕様提示を理解できる。	
		2週	油圧シリンダの設計		設計仕様書を作成できる。	
		3週	油圧シリンダ組立図		組立図の製図を行うことができる。	
		4週	油圧シリンダ組立図		組立図の製図を行うことができる。	
		5週	油圧シリンダ組立図		組立図の製図を行うことができる。	
		6週	油圧シリンダ組立図		組立図の製図を行うことができる。	
		7週	油圧シリンダ組立図		組立図の製図を行うことができる。	
		8週	中間まとめ（組立図）		組立図の製図を行うことができる。	
	4thQ	9週	油圧シリンダの部品図		主要部品図の製図を行うことができる。	
		10週	油圧シリンダの部品図		シリンダ、ピストンの製図を行うことができる。	
		11週	油圧シリンダの部品図		ピストンロッド、タイロッドの製図を行うことができる。	
		12週	3次元CAD製図 1		3次元CADについての講義を理解できる。	
		13週	3次元CAD製図2		CADによる部品モデリングを行うことができる。	
		14週	3次元CAD製図3		CADによる部品アセンブリを行うことができる。	
		15週	3次元CAD製図4、まとめ		CADによる図面作成、まとめを行うことができる。	

		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	製図	図面の役割と種類を適用できる。	4		
				製図用具を正しく使うことができる。	4		
				線の種類と用途を説明できる。	4		
				物体の投影図を正確にかくことができる。	4		
				製作図の書き方を理解し、製作図を作成することができる。	4		
				図形を正しく描くことができる。	4		
				図形に寸法を記入することができる。	4		
				公差と表面性状の意味を理解し、図示することができる。	4		
				部品のスケッチ図を書くことができる。	4		
				C A Dシステムの役割と構成を説明できる。	4		
				CADシステムの役割と基本機能を理解し、利用できる。	4		
				ボルト・ナット、軸継手、軸受、歯車などの機械要素の図面を作成できる。	4		
		機械設計	ねじ、ボルト・ナットの種類、特徴、用途、規格を理解し、適用できる。	4			
			軸の種類と用途を理解し、適用できる。	4			
			滑り軸受の構造と種類を説明できる。	4			
			歯車の種類、各部の名称、歯型曲線、歯の大きさの表し方を説明できる。	4			
評価割合							
	図面	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0